平成26年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月29日

上場会社名　ウインテスト株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6721　URL　http://www.wintest.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 奈良　彰治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 岡本　隆　TEL 045-317-7888

四半期報告書提出予定日　平成25年12月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第1四半期の業績(平成25年8月1日～平成25年10月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	51	673.3	△63	―	△64	―	△64	―
25年7月期第1四半期	6	△76.3	△93	―	△93	―	△93	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第1四半期	△1,317.29	―
25年7月期第1四半期	△1,905.38	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年7月期第1四半期	769	587	75.9	11,853.78
25年7月期	919	649	70.3	13,120.64

(参考) 自己資本　26年7月期第1四半期　584百万円　25年7月期　646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年7月期	―				
26年7月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 7月期の業績予想(平成25年 8月 1日～平成26年 7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	―	―	―	―	―	―	―	―	―
通期	1,307	867.1	124	―	121	―	121	―	2,459.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年7月期1Q	49,274 株	25年7月期	49,274 株
② 期末自己株式数	26年7月期1Q	― 株	25年7月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年7月期1Q	49,274 株	25年7月期1Q	49,274 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（重要な後発事象） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間における世界の経済情勢は、北米では雇用の改善とともに個人消費の一部持ち直しが見られましたが、欧州では金融不安を背景とした景気低迷が継続し、また、アジアの新興国では輸出の減少に伴う成長鈍化が引き続くなど、好転の兆しが乏しいまま推移しました。

わが国の経済は、新政権による政策「アベノミクス」により市場が円安・株高基調に転じるなど、改善の兆しが見え始めたものの、雇用環境の改善の遅れや円安による原材料・原油価格の上昇などの懸念から、実態経済の先行きには依然として不透明感が残っています。

当社が属する半導体並びにフラットパネルディスプレイ業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末関連デバイスや車載関連デバイスの需要は堅調に推移しましたが、その他のデジタル家電関連デバイス市場は低調に推移しました。

このような環境のなか、当社は顧客のニーズに対応した装置と機能拡張オプションの開発、改善に努め、製品ラインアップの拡充を図るとともに、営業担当とエンジニアが一体化した営業推進体制により、国内のみならず海外での売上拡大と、新規顧客の開拓に向けた積極的な営業活動を展開しました。

また、損益面につきましては、部品調達の効率化と調達先の選別による原価低減と経費の節減により固定費の削減に努め、営業損益の改善に努めてまいりましたが、売上高の低迷により純損失を計上することとなりました。

これらの結果、当第１四半期累計期間の売上高は51,741千円（前年同期比673.3%増加）、営業損失63,995千円（前年同期は営業損失93,278千円）、経常損失64,644千円（前年同期は経常損失93,552千円）、四半期純損失64,908千円（前年同期は四半期純損失93,885千円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度に比べ156,326千円減少し、680,578千円（前事業年度末比18.7%減）となりました。この主な要因は、現金及び預金が197,112千円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度に比べ7,176千円増加し、89,290千円（前事業年度末比8.7%増）となりました。この主な要因は、保険積立金が5,715千円増加したことによるものです。

（負債）

流動負債は、前事業年度に比べ82,085千円減少し、93,547千円（前事業年度末比46.7%減）となりました。この主な要因は、買掛金が66,350千円減少したことによるものです。

固定負債は、前事業年度に比べ4,641千円減少し、88,989千円（前事業年度末比5.0%減）となりました。この主な要因は、長期借入金が4,617千円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は、前事業年度に比べ62,423千円減少し、587,331千円（前事業年度末比9.6%減）となりました。この主な要因は、利益剰余金が64,908千円減少したことによるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の見通しにつきましては、国内の半導体及びフラットパネル・ディスプレイ検査装置市場における需要は回復の兆しに乏しい状態ですが、海外市場ではスマートフォン等の需要拡大に対応するための設備投資が活発化しております。

このような市場環境において、当社は伸長市場における「顧客要求の実現」を開発・営業活動の基軸とし、検査装置の機能を拡充することにより独自性と製品競争力を高め、顧客満足度の向上と新規顧客の開拓に注力しておりますが、当事業年度の第２四半期累計期間における業績予想につきましては、受注済みの案件を含む商談において製品の納入時期を調整中であり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を数値で示すことが困難な状況です。

当該期間の予想数値については、合理的に予想可能となった時点で公表させていただきます。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当第１四半期累計期間におきましては、政府の経済政策を受けた国内景気の回復期待は高まりつつあるものの、日中関係の悪化及び欧州並びに中国をはじめとするアジア諸国の経済成長鈍化の影響を受け、当社の属する半導体業界においては顧客の設備投資が引き続き抑制されたこと、及び海外向けでは装置の納入交渉に時間を要していること等により、売上高は51,741千円にとどまり、営業損失63,995千円を計上することになりました。

また、営業キャッシュ・フローについては、税引前四半期純損失が64,700千円計上されたこと及び棚卸資産の増加が95,620千円あったこと並びに仕入債務が66,350千円減少したこと等から、219,842千円のマイナスとなりました。当該状況により、当社には継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社はこうした状況を解消するため、以下の取組みを継続して実施しております。

顧客ニーズに対応した新検査装置や機能拡張オプションの開発、改善により、差別化した製品ラインアップを提供し、国内外で売上拡大及び新規顧客の開拓に向けた積極的な営業展開を推進しており、特に海外企業からの受注獲得につながってきております。併せて、部品調達の効率化及び開発工程の見直しによる原価低減を推し進め、また、前期実施した希望退職による人員減をはじめとする大幅な固定費圧縮策の効果で過去最低レベルの経費水準となっており、営業損益の改善に努めております。さらに顧客満足度の向上に資する製品開発に注力し、厳しい経済環境下でありますが、引き続き顧客の取引シェアアップ及び海外顧客の受注獲得に取り組んでまいります。

また、財務面におきましては、注力している海外顧客向け案件につきましては受注から納品検収まで国内のそれより期間を要することが予想されるとともに、今後の研究開発資金を確保するためにも、手元現金預金を厚くする必要があり、現在、借入等の資金調達に取り組んでおります。これらにより必要十分な現金預金を確保することに鑑み、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年７月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	459,267	262,155
受取手形及び売掛金	49,619	22,258
商品及び製品	29,954	31,040
仕掛品	204,106	298,642
原材料及び貯蔵品	1,055	1,055
その他	92,901	65,427
流動資産合計	836,905	680,578
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,231	11,231
減価償却累計額	△4,898	△5,163
建物（純額）	6,332	6,067
車両運搬具	12,835	8,885
減価償却累計額	△12,410	△8,641
車両運搬具（純額）	424	244
工具、器具及び備品	159,951	161,981
減価償却累計額	△149,668	△151,513
工具、器具及び備品（純額）	10,282	10,467
有形固定資産合計	17,039	16,780
無形固定資産		
電話加入権	358	358
ソフトウエア	83	62
無形固定資産合計	441	420
投資その他の資産		
投資有価証券	17,750	20,235
敷金	14,135	14,045
長期前払費用	3,895	3,242
保険積立金	28,851	34,566
投資その他の資産合計	64,632	72,089
固定資産合計	82,113	89,290
資産合計	919,019	769,868

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年７月31日)	当第１四半期会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	66,507	156
1年内返済予定の長期借入金	18,468	18,468
未払法人税等	2,967	1,556
賞与引当金	1,769	7,058
製品保証引当金	165	159
その他	85,755	66,149
流動負債合計	175,633	93,547
固定負債		
長期借入金	87,011	82,394
資産除去債務	5,590	5,610
その他	1,030	985
固定負債合計	93,631	88,989
負債合計	269,265	182,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	997,101	997,101
資本剰余金	1,104,350	1,104,350
利益剰余金	△1,447,845	△1,512,753
株主資本合計	653,606	588,698
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,100	△4,615
評価・換算差額等合計	△7,100	△4,615
新株予約権	3,247	3,247
純資産合計	649,754	587,331
負債純資産合計	919,019	769,868

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年８月１日 至　平成24年10月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年８月１日 至　平成25年10月31日）
売上高	6,690	51,741
売上原価	2,265	35,131
売上総利益	4,425	16,609
販売費及び一般管理費	97,703	80,604
営業損失（△）	△93,278	△63,995
営業外収益		
受取利息	41	74
為替差益	101	－
保険解約返戻金	282	－
その他	1	－
営業外収益合計	427	74
営業外費用		
支払利息	541	459
支払手数料	160	160
その他	－	103
営業外費用合計	701	724
経常損失（△）	△93,552	△64,644
特別損失		
固定資産売却損	－	56
特別損失合計	－	56
税引前四半期純損失（△）	△93,552	△64,700
法人税、住民税及び事業税	387	252
法人税等調整額	△53	△44
法人税等合計	333	207
四半期純損失（△）	△93,885	△64,908

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、半導体検査装置の貸与、開発、設計、販売並びに技術サポートを事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

資金の借入

当社は、平成25年11月12日の取締役会決議に基づき、以下の金銭消費貸借契約を締結いたしました。

（１）資金使途 運転資金

（２）借入先の名称 Scott Lin

（３）借入金額 50,000,000円

（４）利率 年利1.00％

（５）借入日 平成25年11月13日

（６）返済期限 平成26年12月31日

（７）担保の提供又は保証の内容 無し